

高松空港

【実施主体：個社】

高松空港

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
<p>【短期】 賃上げを含む処遇改善に不可欠な受託料の引き上げ</p>	委託先との契約金額の見直し	処遇改善含む賃上げ等、委託先社員の還元を前提として、委託先とのFY23契約金額に値上げを反映し実施済み。	
	外航受託料の引き上げ	本社にて、外航受託料の引き上げ交渉を実施。	
	総代理店への委託料の見直し	本社にて、R5年度契約料の引き上げを実施。R6年度契約料の見直し検討に着手。	
	検査会社への委託料の見直し	本社にて、R5年度に引き続きR6年度契約料金の引き上げを実施。	
	ご契約先に対する値上げ折衝（受託料の引き上げ）	各契約先に対して値上げ折衝を行い引き上げを実施。	
	ハンドリング手数料の引き上げ	航空会社にハンドリング手数料の引き上げをお願いした。	一定額の引き上げはあったが、必要な原資については開きがある。必要な原資が得られれば労働条件の改善へと繋がるため継続的に依頼している。
<p>【短期】 人材確保にマイナスに働く受託契約の内容の適正化（キャンセル料の設定 等）</p>	委託先の人材確保を下支えするための契約条項追加	最低保証料金の設定や品質連動制度等、委託先の経営の下支えやモチベーション向上に繋がられるような契約条項について、順次、追加設定を進めている。	
	外航受託契約条件の見直し	本社にて、最低保証条項の導入を検討中。	
	検査会社への委託契約条件の設定	本社にて、検査会社への委託契約に時間保証を継続して設定。	
	実働（検査時間）での検査料金から拘束時間での検査料金へ変更出来ないかを要望する。	令和6年度より一部請求対象範囲が拡大された。	

【実施主体：個社】

高松空港

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
<p>【短期】 人材確保にマイナスに働く受託契約の内容の適正化 （キャンセル料の設定 等）</p>	<p>受託ハンドリングにおける契約の適正化</p>	<p>キャンセル料や一定期間の保証を契約に盛り込んで頂くよう依頼している。</p>	<p>契約への反映には至っていないが、ある程度保証があれば減収の補填や社員の労働条件の改善にも対応していけるため継続的に依頼していく。</p>
<p>【短期】 職場環境改善に向けた取組の推進</p>	<p>オフィススペースの増床・リニューアル</p>	<p>復便、増便に伴う社員増に対応すべく、オフィススペースを増床。あわせて、職場環境の改善を図るため、改修を実施。社員エンゲージメントの向上、採用競争力の強化、コミュニケーションの活性化を図る。</p>	
	<p>職場環境課題の定期的なヒアリング</p>	<p>本社にて、全国空港所長による定例会議等を通じ毎月職場環境課題の集約を実施。対応を検討中。</p>	
	<p>警備業全体で保安検査の現状を報告</p>	<p>CABからの警備業全体に対する要望書の提出があり、弊社でも要望を提出した。</p>	<p>要望書は提出したが、回答に関してはまだ届いていない。</p>
	<p>災害時に拠点空港となる為、事務所を耐震構造に建て替えの検討等を施設会社に要望している。</p>	<p>各関係機関へ建て替えの要望をお願いしている</p>	
	<p>オフィス環境の改善</p>	<p>航空会社に老朽化したデスク、ロッカー等の更新を依頼している。</p>	<p>コロナ前よりお願いしているが更新には至ってない。 オフィス環境の改善はリクルート活動やモチベーションの向上に効果があるため継続して依頼していく。</p>
<p>女性社員が働ける環境整備</p>	<p>女性社員も働ける環境として事務所内における更衣室、トイレ等の整備が必要であるため、事務所の所有者に対して建て替え等の整備を要望している。</p>		
<p>【短期】 職員負担の集中を回避するための正確な現状把握</p>	<p>生産量ならびに生産対応状況の把握</p>	<p>本社にて、総代理店の生産対応状況を毎月把握。</p>	

【実施主体：個社】

高松空港

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
<p>【短期】 職員負担の集中を回避するための正確な現状把握</p>	委託先社員数や労働時間の定点的な情報収集	委託先社員の負担を含め、定量的に把握し改善に繋げていくため、配員バランスや採用状況、労働時間の定点的な情報収集を実施。負担の集中が見られる場合には適切な対応を図っている。	
	職員負担軽減と業務効率化	補助金を活用したポケットークの配備により、空港のチェックインカウンターにおける外国語旅客対応の円滑化ならびに旅客一人当たりにより要する接客時間の短縮による業務の効率化・省人化を実施。	
	職務分担表を作成	職務分担表を更新し、一定の職員に集中していないか確認実施	
	コミュニケーションの促進	定期的に社員と懇談会やONE On ONEミーティングを行っている。 また、航空会社と適宜情報交換を行い、ダイヤ調整等連携した取り組みを行っている。	一部の社員に負荷がかかる状況を組織的に把握し、いち早く対応すれば離職率を下げられる効果が見込めるため継続して取り組んでいく。
<p>【短期】 適切な業務量調整による高負荷の抑制</p>	個別面談を行い現状の把握に努める	属人性業務を減らすため業務分散の取組を実施	
	自社グループの応援出向を受入れ	自社グループより応援者を要請、勤務者の業務量の調整を行っている。	勤務時間の平準化が出来た。
	ダイヤ調整の実施	日々のダイヤにおいて高負荷となる時間帯が多く集中しないように、航空会社と定期的にダイヤ調整を実施している。	安全性や定時性の確保、また離職防止のためにも継続的に取り組む。
	正社員領域、派遣領域の見直し	復便、増便に伴う社員負担の軽減のため、採用を強化するとともに、正社員領域の見直しを実施。一部業務については、アルバイト・派遣社員等も活用し業務量（社員負担）を調整。	
<p>【短期】 採用活動の推進（グラハン経験者採用の強化（Uターン・Iターンの活用）等）</p>	自社グループ空港業務採用情報の特設サイトを公開	空港業務の幅広さや魅力を発信し、グループ各社への応募者増や委託先各社の採用機会に繋げるため、空港業務の採用情報に特化した特設サイトを公開。	https://www.job-jal.com/airport-recruitment/

【実施主体：個社】

高松空港

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
<p>【短期】 採用活動の推進（グラハン経験者採用の強化（Uターン・Iターンの活用）等）</p>	採用強化	インターネット（就職サイト）等を拡充し、採用を強化している。	会社全体で応募人数が増えている。
	リファラル採用制度の実施	リファラル採用制度を活用し採用活動の強化を促進	
	経験者を含めた採用の通年化	地元で再就職を希望する経験者の採用。 新卒・中途採用者の積極的な採用。	前職で取得した資格を維持し、早期の現場投入が可能となるため継続的に取り組む。 人材不足を出来るだけ回避するため適宜採用を行っていく。
<p>【短期】 教育期間の短縮に向けた工夫（実践技術に特化した訓練等）</p>	空港保安検定取得に向けた教育の強化	本社警備部と連携し、資格取得計画表を作成、受講対象者に対し、実技、座学、模擬テストを実施し、合格率を上げる。	現時点で6名受講し、4名が合格した。
	自社航空管理規程を改訂	自社航空管理規程の教育基準の見直しを実施	
	訓練生に応じた実務訓練（OJT）の実施	訓練生の成長具合を見極め、成長の早い者は集中的に訓練（OJT）を実施し期間短縮に努めている。	訓練生の能力に応じた訓練は早期の独り立ちに効率的である。
<p>【短期】 需要回復の進捗状況に応じた、限られたリソースの集中的な投入</p>	空港間の応援派遣	需要回復に対応するため、空港単体でのリソースで対応が難しい場合には、応援者を派遣することでリソース不足を解消。	
	ワンマン用脚立の導入	A320/321の作業は、2人で実施していたが、ワンマン用の脚立を導入することで人員繰りの効率化を図った。（現在、国内線のみ）今後、各航空会社がA320/321の導入が見込まれる為、ワンマン用脚立の増設が必要	
<p>【中期】 長期に誇りを持って勤められるキャリアパスの整備</p>			

【実施主体：個社】

高松空港

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【中期】ハード・ソフトの両面からの職場環境改善の推進	オフィススペースの増床・リニューアル	復便、増便に伴う社員増に対応すべく、オフィススペースを増床。あわせて、職場環境の改善を図るため、改修を実施。社員エンゲージメントの向上、採用競争力の強化、コミュニケーションの活性化を図る。	
	施設・設備の改善	休憩室、更衣室、通信環境等の現状調査、および改善を実施。	
【中期】 特定技能制度の積極的な活用			
【個別取組事項】	グラハン業界団体設立への動向把握	グラハン業界団体設立について航空会社を通じて進捗を確認している。	団体の設立は業界全体に影響があるため動向には注視している。 継続して確認していく。

【実施主体：空港会社等】

高松空港

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
<p>【短期】 空港内の労働環境の改善</p>	<p>供用休憩室の整備</p>	<p>グランドハンドリング業務に従事する従業員の職場環境の改善を目的に貨物ターミナルビル内における共用休憩室の整備を実施する。</p>	<p>空港業務を担う人材の処遇改善</p>
<p>【短期】 空港の知名度を生かした採用活動</p>			
<p>【短期】 マルチタスクを担うことができる空港人材の育成に向けた研修</p>			
<p>【短期】 空港WGの活用推進</p>			
<p>【中期】 GSE車両の共用化・共有化の推進</p>			
<p>【中期】 男女比の極端な偏りの解消に向けた取組推進（「旅客は女性」等のイメージの払拭、更衣室等の施設整備等）</p>			

【実施主体：地方自治体】

高松空港

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
<p>【短期】 地元グラハン会社・検査会社とのコミュニケーション強化（人人体制等の正確な現状把握等）</p>			
<p>【短期】 空港業務は地域の雇用を支える地場産業であるという観点から、部局横断的な連携の下での取組の実施</p>			
<p>【短期】 空港業務支援も誘致支援の一部と位置付けた上での関係部局（観光、産業振興 等）と連携した支援の実施</p>			
<p>【短期】 空港WGの活用推進</p>			
<p>【中期】 地方経済を支える空港業務の担い手が真に求めている支援措置の検討</p>			
<p>【中期】 特定技能の在留資格を有する外国人が地域に馴染むための環境整備</p>			

【実施主体：国】

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
<p>【短期】 各地の空港におけるベストプラクティスの横展開</p>	<p>空港関係者等が抱える課題等の把握及びベストプラクティスを参考に解決策の検討と情報共有</p>	<p>空港事務所において、空港関係者等が抱える課題等について積極的に把握に努め、解決できる課題等は解決策を検討し、必要に応じ関係者間で情報共有等を図る。</p>	
<p>【短期】 地域の意欲的な取組への積極的な協力（空港説明会への参画等）</p>	<p>空港イベント事業への参加による情報の発信</p>	<p>空港会社が主催する空港イベント「FUNTAK空港まつり 2023」において、国土交通省航空保安大学の学校紹介を踏まえて、空港で従事する航空管制官等の業務をPRする予定。</p>	
<p>【短期】 生産性向上・業務効率化の実現に向けた取組支援</p>	<p>地方空港等受入環境整備事業費補助金</p>	<p>空港会社が主催する高松空港グランドハンドリング等連絡会に国として参加し、空港関係者等が提案する補正補助金の活用に対し積極的に賛同する。</p>	
<p>【短期】 各主体による取組の重要性の発信</p>	<p>ありがとうポスターの普及</p>	<p>空港業務に従事する方が『この仕事に意味がある』と実感できるよう作成されたポスターを空港事務所の廊下に張り出し、空港事務所職員に対して周知・徹底を図りその実施を促す。</p>	
<p>【短期】 空港WGの活用推進</p>	<p>空港WG等への参加等による情報の共有</p>	<p>空港会社が主催する高松空港グランドハンドリング等連絡会に国として参加し、また空港事務所において主催する高松空港利用者利便向上協議会などにおいて、空港関係者等に対して空港内における課題等について情報共有等を図る。</p>	
<p>【中期】 空港DXの導入促進に向けた実証実験</p>	<p>他空港の導入事例等の横展開</p>	<p>空港運営会社と連携し、空港WGにおいて、航空局HPに掲載されているベストプラクティス等の他空港事例について横展開を行った。</p>	

【実施主体：国】

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【中期】 更なる支援措置等の検討	地方空港等受入環境整備事業費補助金制度の活用推進	空港運営会社とも連携し、航空・空港関係者の人材確保・育成等、生産性向上に資する取組や国際線の受入環境高度化の推進に係る補助事業を事業者に紹介するなど、補助金制度の活用を推進した。	